

にぎやかに施設を訪問

星原女性消防隊クリスマス訪問



12月20日に、星原女性消防隊と中種子交番、民生員が星原校区内の福祉施設や高齢者宅を訪問する見守り活動を行いました。
 サンタクロースの姿に身を包んだ一団が3班に分かれて、「ジングルベル」を歌いながらにぎやかに家々を訪問し、訪問を受けた皆さんに笑みがこぼれました。
 この活動は15年目で、今後も一人暮らしの高齢者宅を訪問し、見守り活動を続けていきます。

にじいろフェスタ 2025in 種子島

共生社会の実現に向けて



12月6日に、中央公民館大ホールでにじいろフェスタが開催され、島内から多くの人が来場しました。
 障がいのある方もない方も共にくらす地域づくりを目的として、ダンスや創作劇などの舞台発表や落語家の柳家花緑さんによる特別講演会、映画上映などが行われました。
 展示物や舞台発表に会場から拍手と明るい声が響きました。

地域おこし協力隊通信 (No. 108)

「阿久根市で開催された研修会に参加しました」 大山 広太郎



活動の様子や町の情報を Instagram に掲載しておりますので、ぜひご覧ください！
 中種子町地域おこし協力隊 Instagram はこちらから



先日、阿久根市で開催された、鹿児島県主催の「地域おこし協力隊全市町村交流会」に参加しました。本研修では、阿久根市におけるまちづくりの取り組みや、その中で地域おこし協力隊がどのような役割を担い、地域に関わっているのかについて、具体的な事例を通して学ぶことができました。
 実際に現地の協力隊の方々の取り組みや退任後に定着し活躍されている方々の活動現場を視察し、直接お話を伺うことで、目指すべきまちづくりの方向性が住民や役所等の関係機関と共有されていることの大切さを実感しました。また、県内各地から集まった協力隊員との交流を通じて、今後相互に協力し合える関係性づくりの第一歩となる有意義な機会となりました。

地域おこし協力隊とは、国の制度で都市から地方へ生活の拠点を移し、地域で活動を行いながら、任期終了後の定住・定着を図りつつ、地域活性化に繋げる取り組みです。任期は最長3年間です。